

地域ケア推進会議 報告書

【医療・介護連携に関する場合のみ】

提出日	2023年9月6日
作成 高齢者支援センター	忠生第1
作成者	神成 泰行

1.開催日時	2023年8月24日	(木)	18:00	～	19:00
2.会場	オンライン開催				
3.主催センター	忠生1	・	忠生2	・	
4.参加人数	22人				
5.参加者内訳	<input checked="" type="checkbox"/> 高齢者支援センター	7人	<input checked="" type="checkbox"/> 医療と介護の連携支援センター	1人	
	<input checked="" type="checkbox"/> 医療関係者	2人	(うち、医師	1人)	<input checked="" type="checkbox"/> 介護事業者
	<input type="checkbox"/> 民生委員	人	<input type="checkbox"/> 老人会	1人	<input type="checkbox"/> 住民
	<input checked="" type="checkbox"/> 町内会自治会	2人	<input type="checkbox"/> 警察	人	<input checked="" type="checkbox"/> 行政
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	(障がい者施設)			
6.開催テーマ	支え合いの町忠生「災害と感染症の中での私たちの暮らし」				
7.地域課題	(1)課題設定の背景				
	<p>圏域内の大型マンションや市営住宅の管理組合長が市の防災課の話を聞き、マンションや市営住宅の住民は避難所利用ではなく、自宅内の安全な場所に避難するよう呼びかけられているという話が出ている。また、住民の名簿がないと避難所利用はできないのか、など不確かな情報が多々あり、情報内容にばらつきがあり災害時の対応に差が出てしまい混乱を招く可能性がある。</p> <p>(2)検討した地域課題</p> <p>災害時に行政の支援が届かないであろう72時間を、地域住民がどのように行動したら生活を継続できるのか。</p>				
8.会議の内容	<p>前回会議にて共有した避難所の利用ではなく自宅で過ごす【在宅避難】を行える様“自助”への備えについて市防災担当部署に依頼する内容の検討を行う。</p> <p>圏域内自治会において先駆的な取組を行う事例の確認共有を行う。(取組として独自で平時と災害時に分け個人情報保護規定を作成し、今後地区内の住民全員を対象に『助けてほしい人』『手助けできる人』のマッチングを行う予定にしている。災害時に救急・消防・警察も来れない事を想定し、マッチングを行い救出活動することを想定している) 救出活動を行い負傷者が発生した場合、災害拠点連携病院や医療避難所に行くことは理解できているが距離が離れているため現実的ではないことから、現場で救護活動後負傷者への対応方法や避難所で何を行うかなど確認が必要であるとの意見も挙がっている。</p> <p>他町内会から在宅時に怪我をしない為防災の備えを伝えているが自助への備えがなかなか浸透しないと意見が挙がっている。</p> <p>今回の推進会議では、“自助”を基本と考え「自分の命は自身で守る」ことが浸透していない事、「誰かが助けてくれる」などの意識を変えていく事、“自助”への備えが必要との課題が明確になった事を参加者で共有している。</p>				
9.課題に対する対応策・今後の地域での展開	市防災担当部署より“自助”への備えや圏域内にある避難所の情報等講話を受け、今回会議で課題となった、“自助”を基本と考え「自分の命は自身で守る」事などの意識変革を図る為に何が必要なのか、“自助”への備えに対して具体的に必要な準備は何かについて参加者で意見交換を図る。				
10.その他					

医療と介護の連携支援センター 確認日

9月 5日